

## 平成 19 年度（ 勤 務 ） 部会報告

部会長名◎ 佐藤 重子

委員名 古畑 鈴木

### 1. 部会開催状況

開催日	議 題	内 容	出 席 委員名
6 / 2 2	1) 活動目標・計画 2) 役割分担 3) 役員会の報告 4) 勤務部会マニュアルについて 5) 助産所見学実習について 6) 研究	・目標・計画案作成 ・委員の役割決定 ・勤務部会マニュアルの読み合わせ ・助産所見学実習について確認 ・アンケート集計及び読み取り	佐藤 古畑 鈴木
7 / 1 3	1) 役員会の報告 2) 研究	・アンケートの読み取り	佐藤 古畑 鈴木
8 / 1 0	1) 役員会の報告 2) 研究	・アンケートの読み取り	佐藤 鈴木
9 / 1 4	1) 役員会の報告 2) 研究	・アンケート集計再確認 ・アンケートの読み取り	佐藤 古畑 鈴木
10 / 1 2	1) 役員会の報告 2) 研究	・アンケートの読み取り ・研究結果発送準備	佐藤 古畑 鈴木
11 / 3 0	1) 役員会の報告 2) 研究	・研究まとめ ・研究結果発送	佐藤 古畑 鈴木
12 / 1 1	1) 役員会の報告 2) 研究	・研究まとめ はじめに～考察	佐藤 古畑 鈴木
1 / 1 1	1) 役員会の報告 2) 研究	・研究まとめ 結果グラフづくり 参考・引用文献の活用	佐藤 古畑 鈴木
2 / 8	1) 役員会の報告 2) 19年度のまとめ 3) 20年度活動計画	・19年度のまとめ ・次年度活動計画について	佐藤 古畑 鈴木

## 2. H19 年度部会目標に対する結果・評価

目 標	内 容	結果・評価
1. 勤務助産師が専門性を発揮し自律した助産活動が行なえるよう資質の向上を図る。	1. アンケート結果の集計・分析 2. 研究のまとめ 3. 学会に研究結果を発表準備 4. 大潮に結果を掲載 5. 3部会合同リスク研修会の開催	計画通り実践できた。学会発表については準備中。今後は、大潮で研究結果を掲載するため、各施設でリスク管理について検討していただきたい。
2. 助産師のアイデンティティを維持し、エンパワメントしながら活動・成長していくことができるよう支援する。	1. 助産所部会との話し合いの結果、助産所・施設見学の実現が可能となる 2. 助産所見学及び実習の実施	助産所実習の実施ができた。今後は、勤務部会の会員に周知させ、見学及び実習の実施を増やしていくことが課題である。

## 3. 次年度（H20 年度）部会課題

- 1) 助産所・施設見学、実習を増やしていくこと
- 2) 院内助産所の開設に向けた支援